

私のプロフィールはこちらから
<https://profile.ameba.jp/ameba/kcstechnique/>

プロフィールにあるように、私は、治療歴25年目になります。
他の治療家やセラピストと違う点は、
整骨で怪我や痛みの治療。リラクゼーション側で全身のケア。
と、両方の人に対して施術を行ってきた事にあります

自分自身は柔道整復師ですが、部位だけしか診ることができず、全身から根本原因を考え出せないようであれば、国家資格者と言えども、人の体に真剣に向き合っていないのと同じと考えています。
ですから、資格の云々より、
知識と経験、そして何より卓越した手技こそ、
人を本当に根本治療を現実化できるものと信じています。

今回の無料メルマガ登録によるプレゼントは

本当に正しい姿勢の指導法

根本治療を可能にする全身の整体手技

この2つになります。

姿勢を一言で片付けてしまうのは簡単ですが、あまりにも間違った姿勢を正しい姿勢と勘違いして、施術を行い、指導している施術者が多いのです。その間違いは、体を良くするどころか、悪くしてしまう可能性もあるのです。ですから、多くの施術者が本当に正しい姿勢というものを理解し、それを基に施術を行い、指導していくことが、お客さんの体に触れる上で、一番最初に知っておくべきことと考えます。

【本当に正しい姿勢の指導法】は、
動画にてホワイトボードを使い、解りやすく説明しています。

【根本治療を可能にする全身の整体手技】は、私が24年間かけて、実験と検証、経験と実績を積み上げた完全オリジナルの全身の整体手技に関するメルマガが、5日置きに、合計120通配信されます。1年半以上の間、届き続けることとなります。

内容をすべてご紹介しますと

【膝編】

- ・ 膝の悪い人に四頭筋訓練はタブー
- ・ 膝は脚の後ろの筋肉が全て
- ・ 変形性膝関節症の人の元を辿れば、圧倒的にX脚が多い！
- ・ はやく膝の矯正を！
- ・ 膝の矯正はパワー
- ・ **膝の矯正法**
- ・ 膝の矯正 方向と狙い目
- ・ **膝の矯正法 O脚X脚**
- ・ 膝の横ズレは下腿三頭筋が防ぐ
- ・ 膝の患者その1「軟骨ゼロ」
- ・ 本当は膝の何が痛いのか？解説
- ・ ハムが下腿の外旋を防ぐ
- ・ 膝の患者その2「半月板切除」
- ・ 皿をちょこちょこ動かしても無意味！！
- ・ 膝の屈曲で邪魔している物
- ・ 膝の患者その3「半月板嚢胞」
- ・ **1番やっかいな、膝裏関節包の癒着の取り方**
- ・ 膝は足首の使い方指導が重要
- ・ 膝の患者その4「四横指のO脚」
- ・ 見逃しやすい前内側の関節包
- ・ **大腿直筋と中間広筋の癒着の取り方**
- ・ 膝の患者その5「膝の限界」
- ・ 結論、変形性の悪化を防ぐには、正しい歩き方が必要
- ・ 膝の患者その6「健康への意識」
- ・ 整形の診断を自分の信頼に
- ・ 残念だった膝の患者

【足首編】

- ・ 足首は、人間の底辺
- ・ アキレス腱からほぐすべし
- ・ 距骨の矯正法
- ・ 踵骨の矯正法
- ・ 支帯と腱との癒着を取る手技
- ・ 脛腓の矯正法
- ・ 足根骨の矯正法
- ・ タオルギャザーは無意味
- ・ 横アーチの作る手技
- ・ 巻爪と指先の冷えの原因を解説
- ・ リスフランの緩める手技
- ・ MP 屈曲力の鍛え方
- ・ 足のタコと靴下の穴の位置
- ・ インソールに頼らない治療
- ・ 足首に人工関節はない？！
- ・ 足首を立たせて使わせるという意味
- ・ 足首が悪くなる理由を考察
- ・ アキレス腱、最新ストレッチ

【骨盤・腰編】

- ・ 筋膜に張りがあれば先に取る
- ・ 骨盤の矯正法
- ・ ぎっくり腰の種類
- ・ その手技で腸腰筋本当に緩んでる？
- ・ 腸腰筋を緩める手技
- ・ ほぐれていもないのにストレッチはダメ！
- ・ 腰の揉み方 その1
- ・ 腰の揉み方 その2
- ・ 椎間関節症の手技
- ・ 分離症、すべり症の手技
- ・ 腰椎椎間板ヘルニアの種類
- ・ 腰椎椎間板ヘルニアの手技
- ・ 針金のような筋緊張

- ・かがみ方を指導せよ
- ・脊柱管狭窄症の限界値
- ・**脊柱管狭窄症の手技**
- ・**座り方を指導せよ**
- ・慢性腰痛の原因を解説

【背中編】

- ・**背中の揉み方**
- ・**肋骨の矯正法**
- ・胸腰椎の重要性を解説
- ・**胸椎の矯正法**
- ・**胸椎の矯正法（ボキボキ系）**
- ・内臓疾患の疑うべき症状とは？
- ・**側弯症の矯正法**
- ・背中也腰痛も歩き方で変わる

【股関節編】

- ・股関節が内旋しないと、ハムが使えない
- ・股関節が後ろに動けば、開脚も良くなる
- ・股関節が外旋しないと、臀筋は使えない
- ・骨盤が立っていないと、股関節を伸展して使えない
- ・**股関節の肘揉み&もも裏揉み**
- ・股関節も座り方が重要
- ・**梨状筋症候群の手技**
- ・膝が伸びなくなる危険性
- ・**腸脛靭帯、大腿筋膜張筋を緩める手技**
- ・**大腿直筋、外側広筋、関節包を緩める手技**
- ・**「ぎっくり腰用」仰向けから腸腰筋緩める手技**
- ・**内転筋、関節包を緩める手技**

【手・肘・肩関節編】

- ・肩は絶対無理やり動かさない！
- ・**滑液包炎を取る手技**
- ・肩関節の癒着部位を細かく考察

- ・ 肩甲骨剥がしは外側から（肩甲胸郭機構）
- ・ 三角筋中部後部を使って、関節包を緩める手技
- ・ 三角筋前部と二頭筋の癒着をとる手技
- ・ 小胸筋を緩める手技
- ・ 烏口鎖骨靭帯、烏口腕筋を緩める手技
- ・ 上中下上腕関節靭帯と関節包を緩める手技
- ・ 肩甲下筋と関節包の癒着をとる手技
- ・ 巻き肩の矯正法
- ・ 肘、手首、腱鞘炎の手技

【首編】

- ・ 斜角筋の揉み方
- ・ 僧帽筋は、もみ返しに注意
- ・ 頚椎の並びと動きを見よ
- ・ 頚椎は間違っても上方へ詰めるな
- ・ 頸板状筋、頭板状筋を緩める手技 1
- ・ 頸板状筋、頭板状筋を緩める手技 2
- ・ 表層筋の揉み方（僧帽筋、肩甲間、菱形筋）
- ・ 頚椎下部、胸椎上部の矯正法
- ・ 鎖骨、上部肋骨の矯正法
- ・ 仰向けでの頸裏の揉み方
- ・ 仰向けでの斜角筋の矯正法
- ・ 乳頭筋、前中斜角筋を緩める手技
- ・ 頚椎椎間板ヘルニアの手技
- ・ 頚下がり症候群の手技
- ・ 頚椎症性脊髄症の手技
- ・ 変形性頚椎症と姿勢

【頭蓋骨編】

- ・ 頭蓋骨の矯正で改善が見込まれるもの
- ・ 頭蓋骨がズれる方向を覚える
- ・ 環軸関節の矯正法
- ・ めまい・耳鳴りをとる手技
- ・ 顔のゆがみの矯正法
- ・ 顎関節症、噛み合わせの矯正法

このような内容になります。
これらの手技をすべて使った整体を骨格治療整体と名付け、
商標登録もしています。



kokkaku chiryou seitaiを略して、KCSテクニックにしています。

私の整体は、決して、楽なものではありません。
汗もかきます。疲労もします。力も必要です。

しかし、治せないままの自分であるよりはマシではないでしょうか？

説明で誤魔化すような自分より、
これ以上は無理と感じながら施術する自分より、
考え悩むことから逃げている自分より、
筋トレとストレッチの指導ばかりの自分より、
正直、骨を見立てることも動かすこともできない自分より、
その時だけ親身な良い人を演じている自分より、
矯正は危ないと否定しているが、
実は矯正する手技を持ち合わせていない自分より、
限界を感じながら何もしていない自分より、
患者の老化を防ぐことができていない自分より、

実際にこの手技で、多くの患者さんやお客さんを救ってきました。
この手技を必要に応じて全部行うメニューの骨格治療整体は、
現在 新規 35,000円・二回目以降 30,000円頂いています。
ホットペッパーでは、新規 22,000円にしていますが・・・

私の治療実績は、形で表現していますので、
こちらのインスタでご確認ください。
https://www.instagram/hiro_skeletal_correction

ここまで内容を説明してきました。
治療家やセラピスト、施術を行うすべての人に何らかの有益な情報を
提供できる内容となっています。

すべて無料です。

人の経験は盗むことはできません。しかし、経験でなくとも経験談や体
験談に基づき、イメージを膨らませ、自分自身に照らし合わせ、手技を
改良するきっかけとなるものです。

自分の手技に合わせて、必要なものだけ吸収し、できるものだけやっ
てみるだけでも、患者やお客さんに、今までにはなかった変化をもたらす
かもしれないのです。

メルマガが届く1年半の間、常に向上心を保つために役立ちます。

登録は、こちらフォームから

<https://kokkakuseitai.com/np/usf/75ndzp0nwU4j.html>

最後に一言

私自身、他の人の技術メルマガを見たこともありませんが、
これほど、全身全てを細かく文章化した人はいないのではないかと
思っています。どうせ無料ですし、もしかしたら、知らないことも書
かれているかもしれません。

私達、施術者にとっても、SNSやYou Tube、インターネットの普及に
より、どの手技が正解で、どの手技が眉唾ものなのか、迷うようになって
います。患者やお客さんもまた、同じように、どの施術者が正解で、
どの施術者がハズレなのか、選択が難しいのです。

そんな時、全身のどこの症状を言われても、根本を説明できて、どこでも対処できる手技があれば、「この先生に会えてよかった」と、心から感じてもらえることでしょう。

迷いなく施術できて、戻らない体を目指し続けることこそ、素で人を想い、手から気持ちが伝わる施術になるはずです。

登録は、こちらフォームから

<https://kokkakuseitai.com/np/usf/75ndzp0nwU4j.html>